

2024年6月15日
吉田海運グループ
コンプライアンス室

➤ 輸送の安全に関する基本的な方針

社是の『安全第一』に基づき

1. 輸送の安全確保が事業経営の根幹であることを深く認識し、輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を全社員に周知徹底する
2. 「安全運転の基本8則」「危険予測10則」を完全に実施する
3. 会社組織全体で輸送の安全に関するPDC Aサイクルを回すことにより、たえず安全性の確保及び向上に努め、陸上交通輸送機関としての社会的責任を果たす
4. 統計的な考え方や数値による事実のチェックを重視し、マネジメント並びに全社員に対するフィードバックを通じて絶えず改善を行い安全を確保する
5. 輸送の安全に関する内部監査を実施し、是正措置を講じると共に、安全管理体制の継続的改善を実施する
6. 関係法令等を遵守する
7. 輸送の安全に関する情報について積極的に公表する

➤ 輸送の安全のために講じた措置

『安全大会の開催（2024年1月ー2024年6月実績）』

過去の事故検討を始め、取り組みの結果発表や講師を招いた安全教育など各拠点年間2階を目安に運輸安全マネジメント会議を包括する形で開催しています。

2024年1月4日(木)	南栄運輸株式会社、岡山営業所、広島営業所、県央営業所、マルコウ輸送 福岡営業所、北九州営業所、同重機回送部門、本社営業所、同重機部門 長野営業所
2024年1月5日(金)	香川営業所
2024年1月6日(土)	栃木営業所、山口東営業所
2024年1月7日(日)	吉田海運ロジソリューションズ株式会社（西諫早営業所、田中町営業所、津久葉営業所、長崎三重営業所）
2024年1月12日(金)	南栄運輸株式会社都城営業所
2024年1月13日(土)	千葉営業所
2024年1月14日(日)	吉田海運ロジソリューションズ株式会社（三川内営業所）
2024年1月15日(月)	南栄運輸株式会社始良営業所
2024年1月20日(土)	茨城営業所
2024年2月3日(土)	神戸営業所

➤ 内部監査実施の目標

大阪東営業所、愛知営業所、静岡営業所、山梨営業所、雲仙営業所、
 県央営業所、長野営業所、千葉営業所、茨城営業所、栃木営業所、
 長崎営業所、本社営業所、香川営業所、神戸営業所、石川営業所、
 岡山営業所、兵庫営業所、広島営業所、防府営業所、山口東営業所、
 北九州営業所、福岡営業所

➤ 輸送の安全に関する目標

- パトロールによる社則違反指摘の減少

社内人員による運行ルートのパトロールを強化し、社内で規定した安全運転の基本社則違反を減少させることを目標としています。社内規則の主なものとしては第一通行帯走行や駐車時の歯止めなどに加え、道路交通法に準じたものを含めた約 10 項目を掲げています。

2020年6月～2021年5月	指摘率	1.77%
2021年6月～2022年5月	指摘率	1.82%
2022年6月～2023年5月	指摘率	1.53%
2023年6月～2024年5月	指摘率	1.35%

パトロールの強化とそれによる指導は今後も継続してゆく方針です。

※数値は吉田海運グループ全体のものとなります。

➤ 自動車事故報告規則第 2 条に規定される事故

- 1件 (2024年1月から)

➤ 2022年と 2023 年の平均燃費の比較(車種別)

車種	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	2024 年 第 1 四半期
ユニック	-8.01%	-27.26%	+0.83%	+7.44%	+23.38%
ダブルトレーラー	+7.55%	+9.91%	+7.39%	-0.42%	+3.57%
シングルトレーラー	+3.47%	+9.02%	+5.45%	-1.10%	-3.12%
4T トラック	+18.17%	-3.93%	-1.63%	-0.93%	-3.53%
15T トラック	+3.32%	+7.61%	+4.55%	-0.93%	-0.01%
全体	+3.77%	+5.87%	+3.83%	+7.19%	+2.76%

※数値は吉田海運グループ全体のものとなります。

※上記の割合(%)は 2022 年を基準に比較した 2023 年の伸び率を示しております。

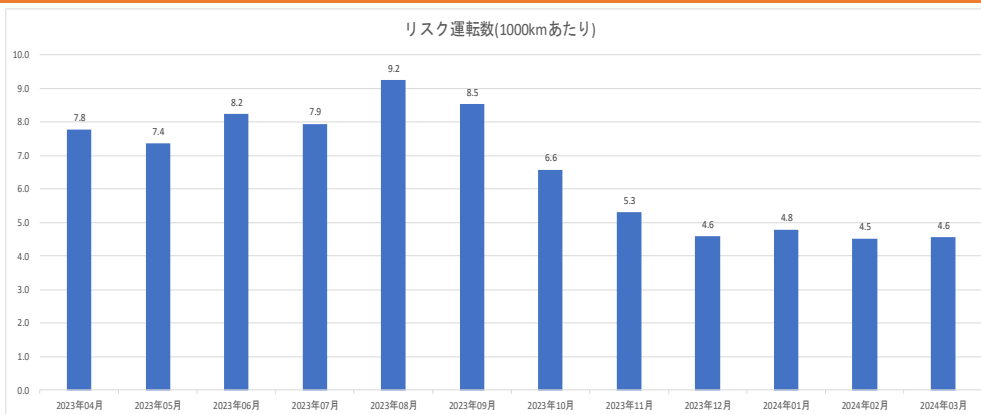
ふんわりアクセルなど制動をコントロールすることで自動車事故が減少するというデータから、指導の効果を見るためにその結果としての燃費を確認しています。

多少の減少はあるものの全体としての結果は燃費向上が確認できますので今後も燃費効率が減少している車種を中心に指導を強化して参ります。

➤ AIドライブレコーダーによるリスク運転数の推移

吉田海運グループは、事故発生時の証拠や危険運転検知時の指導に役立つ資料としてAIドライブレコーダーを導入しています。このドライブレコーダーは、乗務員本人だけでなく他の乗務員の危険運転の映像を記録・確認できるため指導に活用しています。目的は安全意識の向上と危険運転や事故の件数の減少を促進することです

直近12ヶ月の全社推移



月	2023年04月	2023年05月	2023年06月	2023年07月	2023年08月	2023年09月	2023年10月	2023年11月	2023年12月	2024年01月	2024年02月	2024年03月
リスク運転数(1000kmあたり)	7.8	7.4	8.2	7.9	9.2	8.5	6.6	5.3	4.6	4.8	4.5	4.6

月	2023年												2024年			危険運転別 合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
急加速(1000kmあたり)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
急減速(1000kmあたり)	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4		
急ハンドル(1000kmあたり)	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	1.2		
一時不停止(1000kmあたり)	0.3	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.3	0.6	0.5	0.4	0.4	5.2		
速度超過(1000kmあたり)	1.1	1.0	1.0	1.0	0.6	0.6	0.5	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	7.0		
車間距離不足(1000kmあたり)	0.6	0.4	0.4	0.6	0.9	0.8	0.7	0.6	0.4	0.7	0.8	0.8	0.8	7.8		
脇見(1000kmあたり)	5.5	5.3	6.1	5.5	7.1	6.5	4.8	3.8	3.3	3.1	2.9	3.0	3.0	56.9		
急後退(1000kmあたり)	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.9		
月別合計	7.8	7.4	8.2	7.9	9.2	8.5	6.6	5.3	4.6	4.8	4.5	4.6				

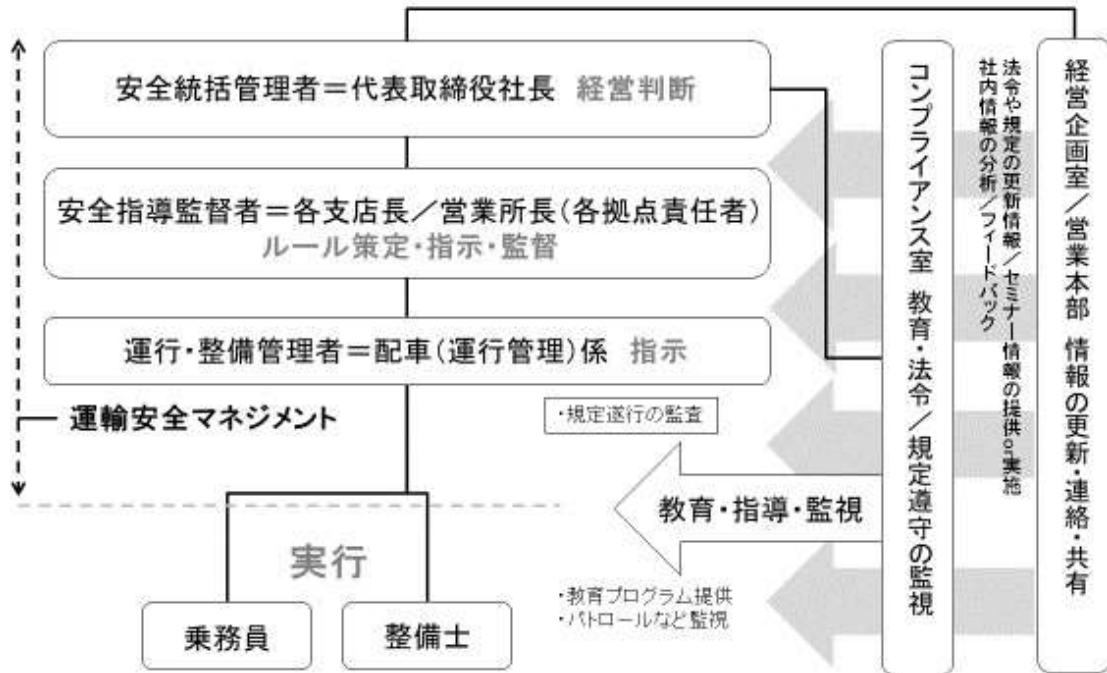
※設置台数427台・全車両の5割（2024年5月31日時点）

上記の数値は吉田海運グループ全体のトラック・トレーラーに設置しているAIドライブレコーダーが1000kmあたりで検知した危険運転数です。

危険運転の映像を確認、指導を行った結果全体として徐々に危険運転数は減少しています。

➤ 輸送の安全に係る組織体制

吉田海運株式会社 安全に関する組織体制



以上